

がん検診・肝炎ウイルス検診・歯周疾患検診

▶▶ がんは早期に見つかりと治る病気

がんは2人に1人が発症する可能性がある身近な病気です。
症状がなくても、定期的に検診を受けることはたいせつです。
早期発見・早期治療により、生存率が90%以上と大きく高まります。

▶▶ 沈黙の臓器「肝臓」

肝炎ウイルスに感染していても気付かず進行してしまい、最悪の場合、がん化するおそれがあります。
一度も肝炎ウイルス検査をしたことがないかたは検診で確認をしましょう。

▶▶ お口のケアはしていますか

歯周病は成人期に歯を失う大きな原因になりますが、初期の段階では自覚症状はほとんどありません。検診を受けて早期にケアをしましょう。

対象のかたに、5月上旬に検診受診券を送付します。受診券が届いたかたは受診方法を確認のうえ受診してください。

胃がん検診、肺がん・結核検診、大腸がん検診

対象 40歳以上のかた(胃がん検診の個別検診は50歳以上のかた)

期間 6月～令和9年1月(胃がん検診の個別検診は2月)

乳がん検診

対象 40歳以上の昨年度未受診の女性

期間 6月～令和9年1月

子宮頸がん検診

対象 20歳以上(集団検診の場合は30歳以上)の昨年度未受診の女性

期間 6月～令和9年1月

肝炎ウイルス検診

対象 40歳以上で一度も検診を受けたことがないかた

期間 6月～令和9年1月

成人歯周疾患検診

対象 今年度20・30・40・50歳になるかた

期間 6月～12月

がん検診は、集団検診(はぴすしらおか)と、個別検診(各医療機関)を実施しています。

詳細は検診受診券、市公式ホームページをご確認ください。



がん検診、肝炎ウイルス検診



成人歯周疾患検診

問合せ 健康増進課成人保健担当

5月31日は 世界禁煙デー



5月31日～6月6日は禁煙週間

🚭 他人の喫煙の影響「受動喫煙」

喫煙者が吸っている煙だけでなく、タバコから立ち昇る煙や喫煙者が吐き出す煙にもニコチンなどの有害物質が含まれています。その煙を吸うことで、肺がん、COPD(慢性閉塞性肺疾患)、虚血性心疾患、脳卒中のリスクは上昇するとされています。さらにこどもの呼吸器疾患や中耳炎、乳幼児突然死症候群、妊婦は低体重児や早産のリスクが上昇します。

🚭 加熱式タバコの影響

最近広く使用されるようになった加熱式タバコの煙には、多くの種類の有害物質が含まれているものの、ニコチン以外の有害物質量は少なかったと報告されています。しかし、たばこ葉が材料であり火をつけるつけないにかかわらず、ニコチンや発がん性物質に曝露されるという点で健康への悪影響の懸念があります。

🚭 「禁煙外来」を利用して上手に禁煙!

禁煙外来では、ニコチンによる禁断症状を和らげる禁煙補助薬を処方してもらえるほか、無理なく禁煙する方法をアドバイスしてくれます。

6か月間以上続く禁煙の成功率は自力で禁煙した場合に比べて4～6倍高く、日本の禁煙外来の成績では治療終了時点で7～8割の人が禁煙に成功しています。また、禁煙治療は要件を満たせば健康保険が適用されます。

禁煙外来・禁煙クリニック一覧▶



🚭 駅ロータリー内の喫煙は禁止です

市民などの身体や財産の安全の確保、喫煙マナー、環境美化意識の向上、受動喫煙による健康への悪影響の防止を図り、安全で快適な生活環境を確保するため、「白岡市路上喫煙の防止に関する条例」を令和7年4月1日に制定しました。



問合せ 健康増進課成人保健担当